

令和2年6月5日

公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク
運営委員会議事録(6月期)～Zoom 会議～

【出席者】(敬称略)

濱田、一政、岡部、片桐、木村、古池、佐藤、高木、葉木、畑、三澤、若笠
事務局：天寺、濱口
澤野推進委員会委員長

1. 濱田代表 挨拶

座間ネットでは先日 Web 会議を実施。予定されていた行事はほぼ中止に。
秋の防災訓練も現状は未定。
コミュニティカフェが 6 月から試験的に開催される予定。

6 月度も冒頭に Web 会議ルールのおさらいを行い、今回畑委員が初参加ということもあり、各委員の現状報告も含めて自己紹介、一言挨拶を行った。

澤野推進委員会委員長 委員会報告
巻末添付_「事業報告と今後の予定」のとおり。

2. 公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク報告

巻末添付_「運営委員会議事」を参照

3. 報告・議案

① 寄付金報告

2020 年＝金額 112,800 円 件数 15 件 (6/3 振込記録まで)
災害対応積立金と SL 活動金として使用。

② 活動支援提案 畑 SL

巻末添付_「SL メンバー活動支援に関する提案」

防護ガウンを作成するにあたり専門知識のある人を探すことに苦勞した。
SL の中で共有コミュニティを作りこれから来るべき日の為にコミュニティを形成してはどうか。アイデアも支援となる。
⇒SL は様々な業界、団体の所属、出身者が多く様々な分野で繋がりを持つことが強み。コミュニティ形成については継続議論。
災害対応積立金、SL 活動金とは別に提案可決された活動について別途その活動に寄附ができるか、またその方法についても意見が交わされた。
また SL の名前を使用してその活動を行うことができるのかという点については定款(目的)に定める部分との兼ね合いで 6 月 19 日の理事会で審議する。

4. 情報提供

ボランティア活動保険について

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、ボランティア活動保険の特定感染症に指定感染症（新型コロナウイルス）を追加し、補償の対象となりました。詳細は「福祉保険」のホームページをご確認ください。（URL: https://www.fukushihoken.co.jp/fukushi/front/infomation_detail.php）
尚、今回の改訂は2020年2月1日に遡って適用されます。

JVOAD_避難所生活お役立ちサポートブック（第2版5月29日） 参考資料

ダウンロード先 URL:<http://jvoad.jp/news/korona-hinan-20200529/>

JVOAD（全国災害ボランティア支援団体ネットワーク） 作成

葉木 SL

「避難・避難所×コロナウイルス対策のためのジレンマ集」 参考資料

ダウンロード先 URL:<http://tdmtc.tokyo/>

東京大学の災害対策トレーニングセンター 作成

地元の藤沢市では内閣府の一般的な注意事項を元に今後の訓練等の考えを11月29日に予定されている市の防災訓練までに基本を出す予定。

そのために6月～8月にかけて市職員で打ち合わせ、研修を行う予定。

片桐 SL

巻末添付_「避難所運営におけるコロナウイルス感染拡大時の感染症対策について（ご提案）」

作成_船橋 SL ネットワーク

岡部 SL

地元流山市では個人で体温計などの物資を非常用持ち出し袋に追加の呼びかけ
また市では避難所における三密防止の為、テントを購入

【次回の開催日】

2020年6月19日(金) 10時00分～第50回理事会

開催方法：検討中

2020年7月3日(金) 14時00分～運営委員会

開催方法：Zoom 会議

2020年5月の事業報告と今後の予定 (2.22→6.4)

(6月5日/災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野次郎)

はじめに この間の主な出来事と成果(私的解説)

焦点1 SLネットワークを含む災害ボランティア活動の存亡の事態

新型コロナウイルス感染拡大での社会変動

相次ぎ行事中止と会員減少のなかでの経営危機

パンデミックのもとで災害が襲ってきた時の対応

焦点2 災害ボランティア活動のあり方

JVOARDの指針、地域内の活動とSLの役割の増加

焦点3 避難所の運営

3密回避だけの対応の限界を露呈、避難してきた人を拒めるのか

必要な物資が揃えられるのか

1、防災とボランティアをめぐる状況

1-1 社会全体(危機管理または重要ニュース)

- ・05/25 緊急事態宣言解除
- ・05/26 休業要請の解除(東京都は段階的)

1-2 災害,大事故分野

国内 ア 地震(気象庁発表で震度5強以上, 9都県市は震度4以上)

その1 千葉、茨城での地震の増加

- ・04/26 09:49 茨城県南部 M4.8 66 km
- ・05/04 22:07 千葉県北東部 M5.6 48 km
- ・05/06 01:57 千葉県北西部 M5.0 68 km
- ・06/01 06:02 茨城県北部 M5.2 97 km
- ・06/04 05:35 茨城件沖 M4.7 50 km

その2 岐阜県飛騨地方、長野県中部(県境)での地震多発

イ 火山等(気象庁発表での噴火速報等)

ウ 気象災害(土砂含)(内閣府掲載を主に対象)

- ・3か月予報 猛暑予測
- ・関東近海での海水温の上昇 エメラルドグリーンの海の出現
- ・春の多雨により首都圏の渇水の危険遠のく

海外 ア 地震(USGC発表、日付UTC、原則Mw7以上か犠牲者多数)

日時	発生地	M	深さ	死者
----	-----	---	----	----

イ 火山等

ウ 気象災害[AFP]

- ・05/20 インド東部 近年最強級サイクロン上陸、大被害は回避
- ・05/21 米ミシガン州 豪雨により2つのダム決壊

エ その他

- ・05/27 インド西部と中部 バッタの大群襲来 農作物被害

1-3 防災行政等の動き

ア 政府

- ・防災担当

05/15 新型コロナウイルス感染症が収束しない中における災害時の避難について

05/21 新型コロナウイルス感染症対策に係わる災害時の避難所関連

・05/19 気象庁・環境省

「熱中症予防対策に資する効果的な情報発信に関する検討会」(第2回)

イ 自治体

ウ 東日本大震災

・4/28 [復興庁]避難・転居者数 4万4346人前月比-2332人 4/09現在

エ 防災訓練等

1-4 災害ボランティア等の動き(全社協 被災地支援・災害ボランティア情報)

・05/11 新型コロナウイルス避難生活お役立ちサポートブック JVOARD

・06/01 新型コロナウイルスの感染が懸念される状況におけるボランティア・NPO等の災害
対応ガイドライン JVOARD

1-5 注目すべきメディアと書籍等

ア TV [NHKスペシャル等]

・放送大学 講師 林春男 毎週金午後9時 コミュニティがつなぐ安全・安心

イ 新聞他

2-1 社会貢献活動:災害ボランティア

※6月までの行事がほぼ中止に

A、災害ボランティアリーダー養成事業

ア S L 講座 10,970人 公認講座 2,774人 5/25

イ 本部主催のS L養成事業

・[講座]立教大学・東京講座 2/22 以後中止で5/25で特例認定

ウ 大学等受託のS L養成事業

・[講座]中止または延期

オ 他団体の研修等への協力(主なもの)

B、防災/減災啓発推進事業(主に首都圏開催)

C、S Lネットワーク/災害ボランティア活動報告

2-2 総合防災事業

A、シェイクアウト事業(防災訓練事業)

ネットを中心とした訓練なので中止になっていない自治体が多い。

☆ネット環境で対応できる事業として再注目

B、防災教育推進事業(普及協会等)

ア チャレンジプラン・内閣府共催事業

イ 防災教育事業

・7/5 防災ゲーム&クイズのネット開催

ウ 学校・団体等防災教育推進事業

C、防災研究事業

3、広報等

6月号

以上

SL 災害ボランティアネットワーク
運営委員会メンバー各位

東京担当運営委員
S L 畑 謙司

SLメンバーの活動支援方法に関する提案

この度の新型コロナウイルスによる社会的影響は私たちの想像を超え、大きな制限をされただけでなく、社会や企業・医療従事者まで大変な打撃を受けました。これはある意味の「災害」であり、我々が活躍しなくてはならないと使命感はあるものの、人との接触が制限された中では何もできないことを痛感し、無念にも思っております。

そこで私は社員の有志を募り、「医療最前線支援ボランティア」活動を開始いたしました。実行段階で色々と経験や調査を行いましたので、下記のような「SL 支援プログラム」をご提案いたします。

今回行った活動は「医療従事者の健康と笑顔を守る」とサブタイトルを定め、「防護用ガウン」を作成いたしました。フィルムシートの選別・手配 接合方法の研究 使用感や使い勝手の確認など予想以上に大きな時間を要したこと 費用もサンプル品 部材 機材等購入等を含め発生しました。

【提案1 活動の迅速な発信方法】

今回は「防護ガウン」作成情報を収集し、フィルム素材メーカーにメールで情報提供やアイデア・知恵・知識などの提供をお願いした。

SLメンバーには多方面で活躍された方・多彩な知識や人脈を持った方が多数いらっしゃると思っています。そのリソースをいち早く提供していただくため SLメンバー全員に向けた連絡方法またはコミュニティサイトを確立してはどうか？

【提案2 SL内部支援方法について】

今回のような 何かを製作して提供する またはイベント等と開催するなど 主旨・提案・発表を行い、事務局の承認を得る。 SLメンバーに対して「この活動に寄付を募る」趣旨に賛同し参加したいが

参加できない人は寄付によって活動を支援する。

その際 寄付のXX%は事務費用として 本部収入とし 本部は活動支援としてチームに提供する 相互協力と本部収入増のメリットがある。

【提案3 外部支援利用に関して】

昨今 クラウドファンディングやSNS 寄付機能等で活動に関する資金的支援を一般の方から受ける方法が多数あり、今後も多様化することが考えられる。中には 募金金額50万目標で20倍の金額が集まることもある。SLとして内側だけでなく、外に向かって活動支援を募金という形で募りたい。今回の活動でもクラウドファンディングを活用しようとしたがコロナの影響により掲載まで約3か月かかるとのことで断念した。

SL 災害ボランティアネットワークの活動やイベントに関して 広く告知することにも繋がる。

また、クラウドファンディング等は閲覧者が「納得できれば資金的援助をしたい」と動機をもって閲覧するため寄付する事が多い。但し、寄付金ZEROや目標金額未達成の場合はまったく入金はない。また、掲載費用が掛かる場合がある。

クラウドファンディング等外部利用の場合は、SL 災害ボランティアネットワークとして掲載することで認知度と寄付者に対する信頼度向上が期待できる。また、このようなサービスの掲載順位はNPO 法人等が優先されることや寄付者に対する減税処置も行える。

個人で出展した場合は信頼度の問題や寄付を受けた場合の贈与税等が発生するため難易度が上がる。

【提案にあたって】

クラウドファンディング等に詳しい方がSL メンバーに中にあるのではないかと推測されます。

メンバーの知恵を活用して展開を進めてはいかがでしょうか？

SL 災害ボランティアネットワーク本体の運営に寄付してほしいというよりは個々の活動に関して寄付等を募ったほうが現実的ではないかと考えています。

今後ますます 発達を続けるネット社会 これからも付き合いなくてはならないコロナ社会を考えるとき、ネット社会は増加することがあっても衰退することは考えにくい。

公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワークとしても活用を進めていくことをご提案いたします。

避難所運営における新型コロナウイルス感染拡大時の感染症対策について（ご提案）

◆対策目的

- ・避難所等で集団感染を発生させない。
- ・避難が必要な人が感染を恐れて避難せずに、犠牲になることを防止する。
- ・避難所内で感染した場合の対応方法を確立する。

◆対策

【避難所（体育館）に入る人数を減らす】

- ・在宅避難、友人宅を避難所の選択肢の1つとして検討する（啓発）
- ・避難所となる学校等に車中泊用のスペースを設ける
- ・やむを得ず避難所に来る場合も、体育館以外の居住場所を検討する

【感染予防備品の準備】

《避難所備品》

手指消毒液（受付、トイレ、居住場所等）、非接触型体温計、ウェットティッシュ、健康管理票（新様式：1枚/人）、ペダル型ごみ箱、使い捨てビニール手袋、段ボール等のパーテーション、透明ビニールシート（受付等に設置）

《避難者が用意》

マスク、体温計、手指消毒液、ウェットティッシュ、うわばき

【感染症を防ぐ運営】

- ・避難者、運営者マスク着用、土足禁止の徹底
- ・手指消毒液の設置（受付、トイレ、居住場所等）
- ・基本的にドアは開放、1時間おきに窓を開け換気に努める
- ・トイレ、ドアノブ等の定期的な消毒
- ・居住区は世帯ごと2mの通路を空ける（可能な限り）
- ・マスク、鼻をかんだティッシュ等のゴミ専用のごみ箱（ペダル型ごみ箱）の用意

【避難者受入れ方法】

- ・体育館入場待ち行列は1世帯ごと1m間隔を空けて並ぶ（スーパーレジ方式）
- ・避難者は①くつを脱ぎ、②手指の消毒をして、③健康観察、④受付に向かう
- ・入場管理(体育館入口)で健康観察（発熱/嘔吐/下痢の有無を確認、検温）する。
- ・非接触型体温計で検温し、発熱や感染症を疑う人は、別室へ移動（別室を設ける）

【避難者の健康管理】

- ・毎日検温し、居住区組長（→本部へ）に体調の報告をする（新様式：健康管理票を用意）
- ・体調不良者は、居住区組長に連絡し、感染症の疑いがあれば発熱用別室へ移動
- ・**体調不良者の医師への診断方法の確立**→専門外来への受診方法のマニュアル化

公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク

6月5日運営委員会(Zoom 会議) 進行内容

2020年6月5日(金) Zoom 入室 13:45～ 運営委員会開始 14:00～15:30
 (運営委員メンバー：濱田・一政・片桐・古池・若笠・岡部・木村・佐藤・石丸・葉木・高木・三澤・畑)
 (事務局メンバー：澤野委員長・天寺・濱口)

進行役：事務局 天寺

1. Zoom 会議をうまく利用するために♪

◆無線機での通話を念頭に！！ (Push-to-talk)

① 話す人は「ひとり」

→ 話す人がメイン画面に映されます。

② 相槌はがまん！

→ 都度、相槌を打つとその音声もひろってしまいます。

③ ミュート機能をうまく使って！

→ それでも相槌をうってしまうのが人間。だからミュート機能で自分が発言する時以外は、自分の音声を拾わないように「ミュート」を押してください。

③ 発言したいときは手を挙げるなど合図を

→ 意見があるときは手を挙げるなど合図してください。進行役が指名します。もちろん、発言する時は「ミュート」機能を解除してくださいね！

④ 自分の発言は一通り言い切ってから、相手の反応を待つ

→ 意見交換をするときは、自分の「意見」と相手の「意見」が交換できるように、「間」を取りましょう。

2. 出席メンバーから一言挨拶

3. 濱田代表挨拶

4. 災害救援ボランティア推進委員会活動報告 澤野委員長

➤ 配付①澤野委員長_防災事業報告

➤ 参考①_新型コロナウイルス感染拡大下における災害V Cの設置・運営等について～全社協V Cの考え方～

5. 報告・議案など

5.1.1. 寄付金報告(2020年)

金額 112,800円 件数：15件 (6/3 振込記録まで)

→災害対応積立金とSL活動金へ。

5.1.2. 理事会の権限について

・「事業計画」「収支予算書」「資金調達及び設備投資の見込み」の承認

5.1.3. 〔新規〕「防護服ガウン作成プロジェクト」について

- > 提案者：畑 SL
- 配付②畑 SL 提案_SL 活動支援提案書
- 配付③ 畑 SL 提案添付資料

5.1.4. 話題提供

- ◆この状況下（新型コロナウイルス蔓延）で大規模地震が発生したら？
 - 「3密」を避ける避難所運営とは？
 - 参考②JVOAD_新型コロナ避難生活お役立ちサポートブック
 - 参考③JVOAD_被災地で活動する場合のチェックリスト
 - 参考④_葉木 SL 提供_20200515 東大災害対策トレーニングセンタージレンマ集 5
 - 参考⑤船橋ネット_避難所運営【コロナ対応提案】

6. 次回予定

7月 3日（金）運営委員会 13:30~16:00 Zoom 会議

6月 19日（金）第50回理事会 10:00~12:00 Zoom 会議

以上